

要求実現の力をも  
つ労働組合をめざし  
全国で組織建設と  
拡大をすすめよう！



発行所  
JMITU  
(日本金属製造情報通信労働  
組合)  
〒114-0023 東京都北区滝  
野川  
3-3-1 ユニオンコーポ 3  
階

# 人員増、職場改善、継続雇用、諸要求で前進 17秋闘 36支部分会で前進回答 回答促進へ、産業別統一闘争を強化しよう

(1) 10月7日現在の中央本部集計で、要求提出支部分会は123支部分会となり(昨年113支部分会)、17秋闘で新に提起した「本物の働き方改革」の統一要求書は98支部分会で提出しています。項目別で見ると「職場の諸要求」が22支部分会、「人員増」が6支部分会、「情報開示・経営改善、職場政策」のが5支部分会、「本物の働き方改革」統一要求書が4支部分会など36支部分会で前進回答を引き出しています(昨年同時期は39支部分会)。昨年から引き続き、取り組んでいる定年・雇用延長・継続雇者の賃金処遇改善は4支部分会が前進回答を引き出し奮闘しています。



「さようなら安倍政権」 一新宿で青年・市民がデモ  
(10月1日・新宿)

(2) その他、主な前進回答は、「トイレ改修、トイレ改修・駐車場と道路の整備を来年予算で実施(埼玉・吉原鉄道)」、「労災5~14級保障額を20万円増(東京東部・日本ロール製造)」、「電子マネー対応自販機2台設置(東京西部・超音波工業)」、「定年退職日を3月または9月末に(ISB)」、「パソコンの入れ替え(東京北部・ADC)」、「駐車場を整備しぬかるみを解消(長野・信濃合金)」、「夏用作業衣の改善(ポロシャツ採用)(長野・マグネエース)」、「女子更衣室空調設置(愛知・川本製作所)」、「新卒8人、中採1名、アルバイト1名の人員増(京滋・カシフジ)」、「妊娠中の通院休暇1日/月の休暇(出勤扱い)を認める(大阪・野村製作所)」、「通勤用自転車の駐輪代を支給する(大阪・日立建機ティエラ)」など、様々な要求で前進回答を引き出しています。

(3) 「本物の働き方改革」の統一要求に対して「アベ働き方改悪に反対する主張に賛同(東京北部・ユニオン光学)」と言う回答がある一方、少なくない支部分会で「現状では考えていない」「雇用の内容や条件、方法論までを詳細に取り決めることは非現実的で有り、不合理と考える、など労働法制改悪を職場に入れないと、明確にしない回答押しつけられています。各本部・地協はこうした「要求と正反対の回答」=「後退回答」が支部分会に押しつけられていないか回答書を良く確認するなど産別としての援助を行います。後退回答を押しつけられている支部分会があった場合には、「アベ働き方改悪」の危険性について十分に説明して自信を持って要求できるように援助します。また支部任せずにしないで積極的に産別団交を開催して、産業別統一闘争で回答を書き換えさせるなどを経営者に迫ります。

# 無年金者に5000円の「生活給付金」

## 「生理休暇」半日→1日 今年の重点「定年延長」 長野・コシナ支部

コシナ支部では15秋闘に続いて、17春闘時に秋闘要求が大きく前進しました。

一つは、「60歳以上の継続雇用者の賃金抜本改善」の要求です。17春闘で5000円の「生活給付金」が支給されるようになりました。60歳に到達しても報酬比例部分も出ず「無年金」になる人の要求です。17春闘での支部の重点要求でした。中央方針で、統一要求として取り上げられていたことが交渉に役立ち、前進の決め手になりました。15秋闘のなかで60歳まで同一基準での賃上げが実現し、30年来の要求がかなったと報告しましたが、高齢者の待遇改善要求での連続的な前進となりました。

2つ目の前進は、「女性の生理休暇の有給化」で、これまでの半日から1日に増えたことです。13年前に地本の女性部で産別団交をおこない、半日有給が実現しましたが、それ以来の快挙です。

このほか、「作業靴の改善」「食堂と更衣室の出入口の複数化」などの秋闘で要求してきたことが実現しました。

17秋闘では、「定年延長、雇用制度改善」を急務の課題とし、65歳定年制を正面にすえ要求しています。厚生年金の比例報酬部分の支給開始年齢に到達するところまで正社員として働き続けられるようにすることです。「ただちに63歳、2019年4月までに64歳、2021年4月までに65歳への定年延長を実現すること」を要求しています。

この秋年末闘争の11月には、従業員代表選挙もおこなわれます。支部からかならず候補者を立て、要求実現を訴えていきます。(長野・コシナ支部・服部寿一)

## 「アベ9条改憲」を阻止！

## 「市民と野党共闘」で要求実現

「もり・かけ」隠し、「いまなら勝てる」の身勝手解散に対し、国民的な怒りがわき起こっています。北朝鮮問題で一時盛り返した安倍内閣の支持率も、再び不支持が急増し逆転しました。

一方、マスコミをジャックし、民進党の吸収・合併にも成功した小池「希望の党」でしたが、「安保法制（戦争法）」と「憲法」による民進党リベラル派の露骨な排除に、「安倍自民党と同じ独裁」「維新といっしょで自公の補完勢力」との声がひろがっています。

総選挙は「憲法」を軸に、「自公とその補完勢力対、市民と共産・社民・立憲民主の野党共闘との対決」というのが真の構図です。JMITUはアベ9条改憲阻止へ、全組合員の決起をよびかけています。

**総選挙でアベ暴走政治を阻止！**

自民も補完勢力もNO！「市民+野党共闘」で政治を取り戻す

**戦争だけはダメだ！**


**9条改憲に反対する一票を！**

**「アベ働き方改悪」にNO！の一票を！**

**残業代ゼロ、過労死促進ヤメロ！**

**10.22投票 必ず選挙に行こう！**

**嘘つかない、裏切らない、政党・候補者に投票しよう！**



ポスターを全国発送しました

「JMITU」(メールニュース版)は、これまで毎月25日付で発行されてきましたが、本号より闘争時を含め、適時発行していきます。職場のたたかい、組織建設の経験・教訓も紹介していきま